情報公開文書　（単施設用）

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	26096
課題名	がんにおける腫瘍所属リンパ節の免疫状態の解明
研究期間	2026 年 10 月 23 日（実施許可日）　～　2030　年 3　月 31　日
研究の対象	当院で 2010 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日の間に免疫チェックポイント阻害剤による治療が行われているがんの患者さん
利用する試料・情報の種類	☑診療情報（詳細：患者さんの年齢、性別、BMI、がんの組織型、術後の生存期間等） ☑手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：　肺、所属リンパ節　） ☐血液 ☐その他（手術で摘出した組織：　　） 利用予定日（開始日　実施許可日から 1 ヶ月後）
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学　学長　西川　祐司
研究の意義、目的	腫瘍組織でがん抗原を貪食した抗原提示細胞は、がん所属リンパ節（TDLN）に遊走しがん特異的 T 細胞を活性化させます。近年注目されている免疫チェックポイント阻害剤（ICI）の有効性は、担癌生体内のがん特異的 T 細胞の割合に影響を受けることから、TDLN における免疫状態を知ることができれば適切な治療方針立案につながります。本研究は、ICI 治療が行われているがん患者さんを対象にして、TDLN と腫瘍組織の免疫状態を解明し、また ICI 治療奏効率と関連性について、臨床サンプルを用いて明らかにすることが目的です。
研究の方法	患者の年齢、性別、BMI、肺がんの組織型、術後の生存期間等の基本情報をカルテから収集します。旭川医科大学において免疫チェックポイント阻害剤による治療が施行されるがん患者さんにおいて、診療上必要で採取したホルマリン固定された検体を用いて解析します。また、治療経過を追跡し、奏効率および免疫状態との関連を解析します。解析手法として、主要なマーカー（例えば、CD8、CD4、FoxP3、PD-1、PD-L1、CD68、CD103 など）の免疫染色、フローサイトメトリー解析、RNA シーケンシング、生存期間解析を用いた予後解析などを使用予定です。
その他	特になし
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

	照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所在地：旭川市緑が丘東２条１丁目１番１号 電話：0166-69-3290 研究責任者：旭川医科大学病院　病理学講座　免疫病理分野 大学院生　吉野　流世